

第3回標準化セミナー

「微小粒子の破壊・変形強度の測定方法とその応用展開」

主催：一般社団法人日本粉体工業技術協会（APPIE）規格委員会

日時：2024年9月10日（火）13：00～17:45 意見交換会 18：00～20：00

会場：ウインクあいち（愛知県産業労働センター）〒450-0002 名古屋市中村区名駅4丁目4-38

意見交換会会場は後日連絡

協賛（依頼中）：一般社団法人粉体工学会、公益社団法人化学工学会粒子・流体プロセス部会、公益社団法人高分子学会、一般社団法人色材協会、公益社団法人日本分析化学会、公益社団法人日本セラミックス協会、一般社団法人日本ファインセラミックス協会、公益社団法人日本薬学会、一般社団法人資源・素材学会

開催趣旨：

医薬品、化粧品、液晶ディスプレイなどの製造分野では数 μm ～数十 μm の粒子を取り扱うことが多い。これら微粒子の破壊・変形強度に関する測定法は、顆粒体や造粒物については規格化されているが、単一粒子についてはなく、JIS 制定が要望されていた。そこで（国研）産業技術総合研究所は2015年度から微小粒子の圧縮強度の測定標準化に取り組み、その後、（一社）日本粉体工業技術協会が引継ぎ、JIS 原案作成委員会の下での作業により2019年2月20日にJIS 制定された。折悪しくコロナ禍でセミナー計画が中止になったが、昨年より行動制限が緩和され、今回のセミナー開催に至った。本セミナーでは、下記プログラムのとおり、本JISの概要説明の後、代表的な微小粒子強度測定装置の概要紹介、本JIS 化の応用展開として化粧品と化成品製造企業より製品性能と微小粒子強度特性との関連性の紹介、最後に、公的研究機関・大学より関連分野での微小粒子の力学特性と粉体諸現象の関係性についての研究状況を紹介いただく内容とした。これらの情報を通じて、本JIS がより広く活用され、微小粒子粉体を含む製品の性能向上、製品の品質管理などに役立てられることを期待している。

*** プログラム ***

13:00～13:05 開会挨拶

（一社）日本粉体工業技術協会 規格委員会前委員長／（国研）産業技術総合研究所 遠藤茂寿 氏

13:05～13:25 JISZ8844:2019 の概要と活用への期待

JIS 原案作成委員会委員長／東北大学名誉教授 齋藤文良 氏

13:25～14:05 島津微小圧縮試験機の紹介

（株）島津製作所 關 貴浩 氏

14:05～14:45 超高精度荷重検出センサーによる粒子強度測定について

（株）ナノシーズ 島田泰拓 氏

14:45～15:25 微小粒子圧壊力測定の化粧品用球形粒子への適用

日本メナード化粧品（株） 豊田直晃 氏

（15分休憩）

15:40～16:20 化成品微粒子の破壊・変形特性と製品性能

積水化学工業（株） 山田恭幸 氏

16:20～17:00 接触面積計測式顕微インデントによる弾塑性・粘弾特性評価

（国研）産業技術総合研究所 宮島達也 氏

17:00～17:40 固体の粉碎現象と構成要素としての微小単粒子強度

東北大学 NiChE 石原真吾 氏

17:40～17:45 閉会挨拶

（一社）日本粉体工業技術協会 規格委員会副委員長／（国研）産業技術総合研究所 高橋かより 氏
～～～意見交換会場へ移動～～～

18：00～20：00 意見交換会

受付開始 12:30

参加費 会員および協賛団体会員：20,000 円、一般 25,000 円

定員 70 名

意見交換会 立食

以上